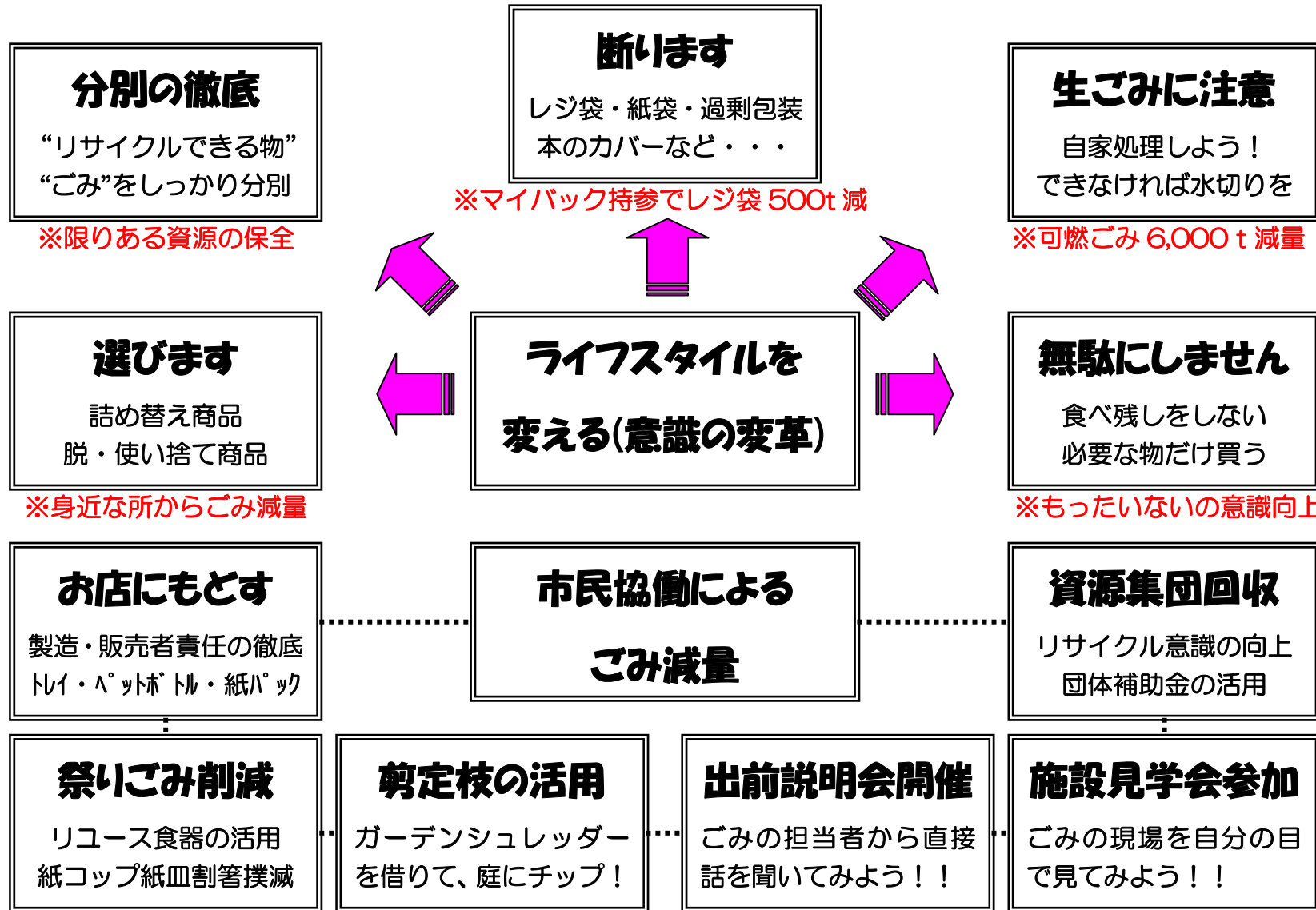


私たちは、どうすればよいのでしょうか？（市民協働への取り組み）

☆「めんどくさい」から「もったいない」☆ ~ごみをもっともっと減量しましょう~



コロくん

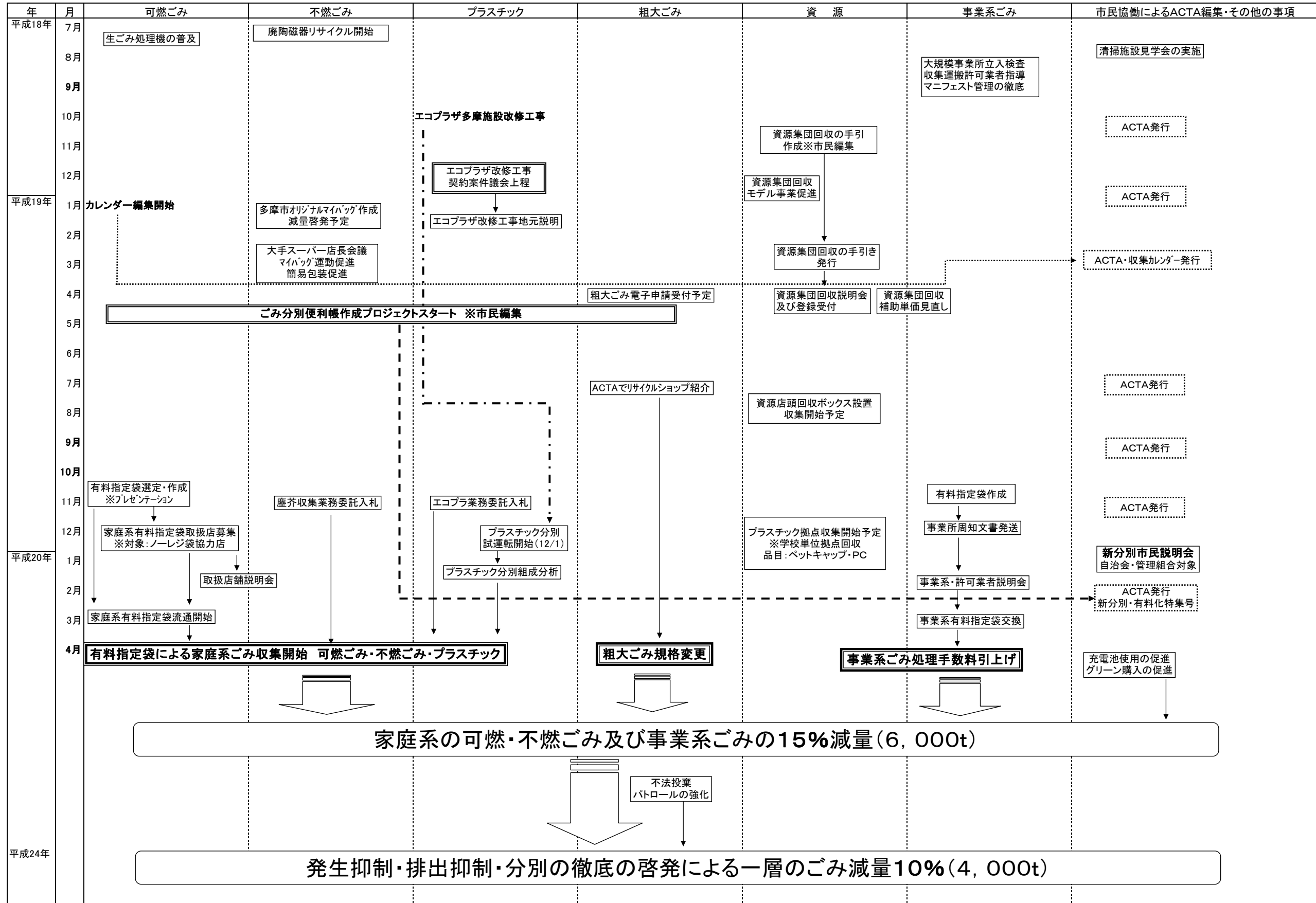


「コンロで袋を断ったり、分別をしっかりとするのは、若い人には難しいかもね？」
「こんな、意識を変える動機付けとして、家庭系ごみの有料化は有効だと言われているね。」
「みんなができることだからやらなくちゃね！」

ライフスタイルを変えるのって難しい？

多摩市のごみ減量の取り組み体系図

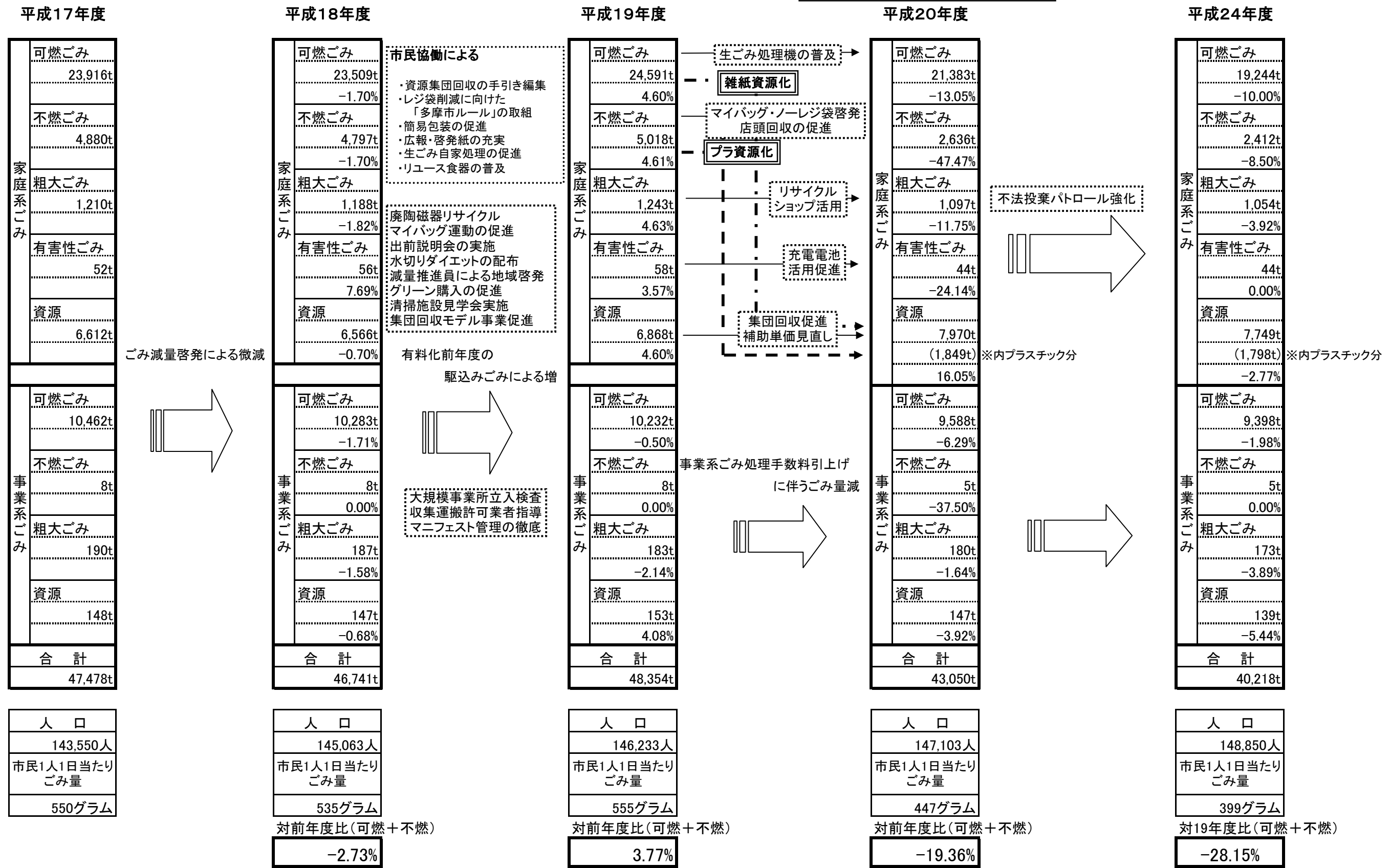
平成17年度ごみ総量	47,478t
可燃ごみ	34,377t
不燃ごみ	4,888t
粗大ごみ	1,400t
資源	6,760t
有害ごみ	53t



※有料指定袋による家庭系ごみ収集等に関する条例の議会上程時期については今後予定します。

発生抑制・排出抑制によるごみ処理目標の設定値内訳

平成20年4月より、有料指定袋による家庭系ごみ収集開始



[現 状]

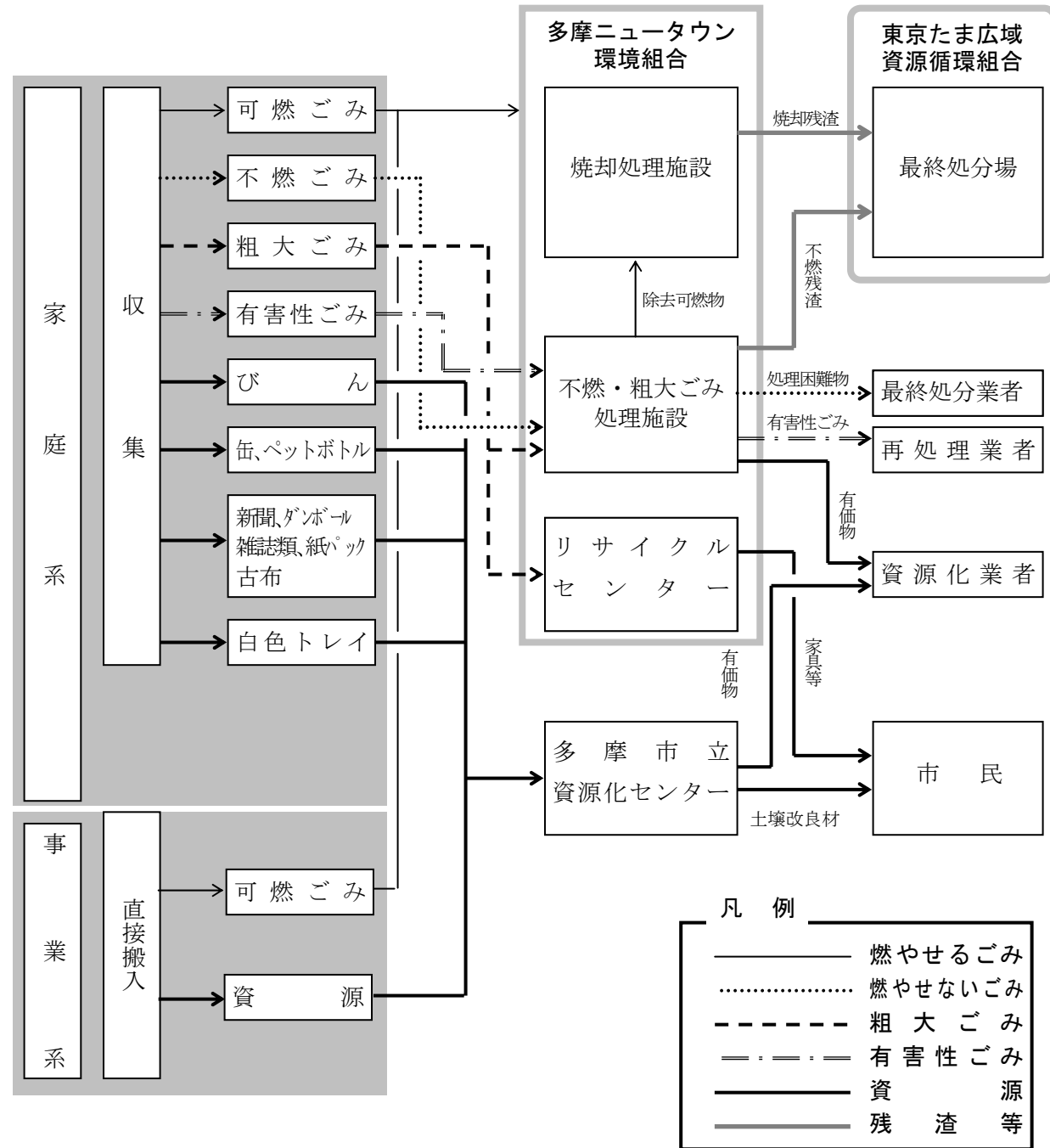


図1 現状のごみ処理体制

[将 来]

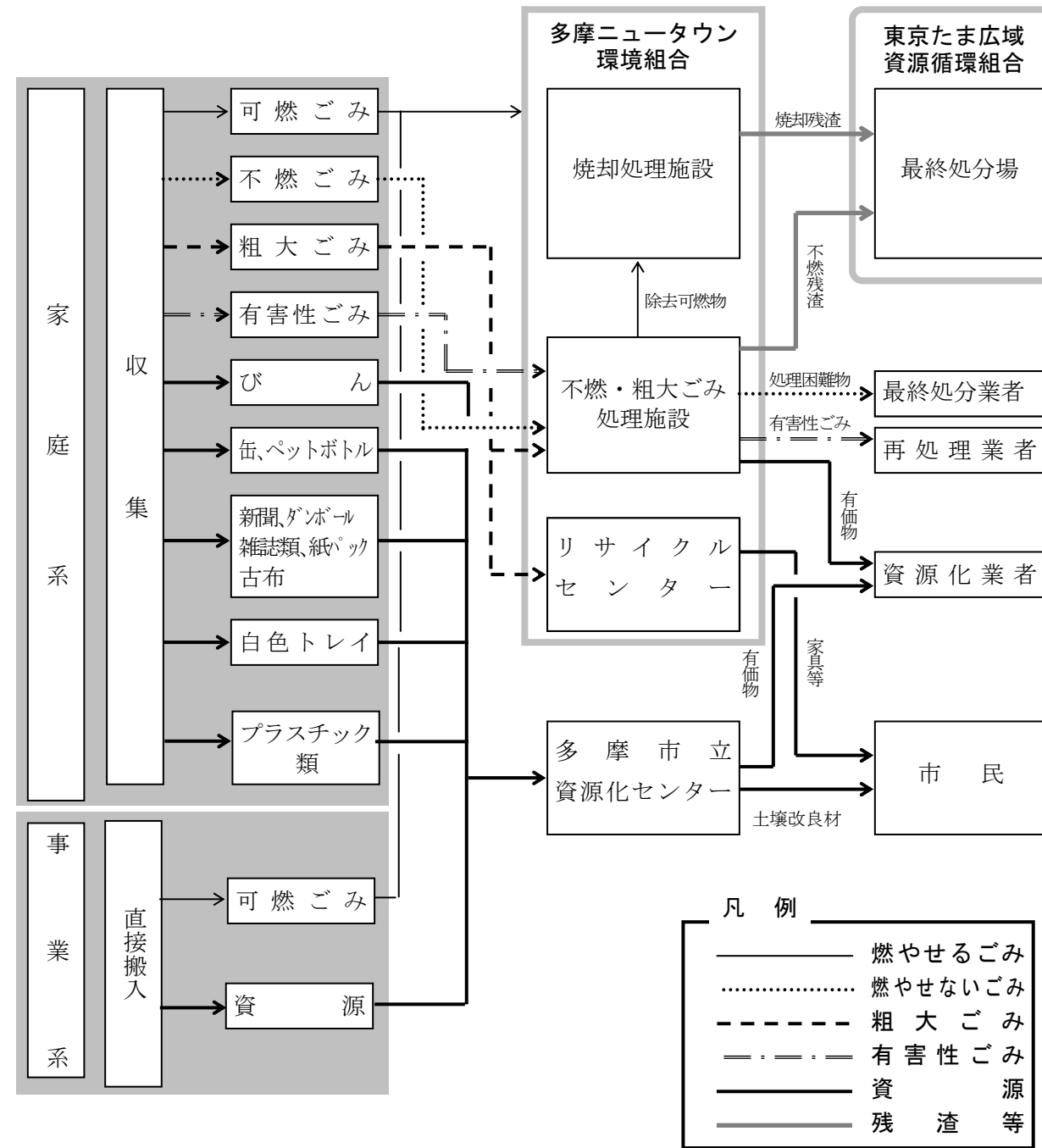


図2 将来のごみ処理体制

多摩市廃棄物減量等推進審議会答申

1. 家庭系ごみの有料化について

家庭系ごみの有料化は、ごみの減量化の効果をねらう一つの手法であることと、市民のごみ減量・分別等の努力を評価できるシステムでもあることから、市民への十分な説明や普及啓発を行ないつつ、実施することが望ましい。

しかし、有料化は一種の公共料金の値上げであるため、実質的増税と受け取られることや、低収入層、または社会的弱者にとって負担が大きいことなどが考えられるので、そのための配慮が必要である。

さらに、有料化の対象となるごみの範囲、手数料の額等具体的な内容については、市民との協議の場を設け、十分な手順を踏んだ上で実施されることが望ましい。

また、市民の理解と合意を得るためにも、手数料収入を、ごみ減量、リサイクル、環境関係の活動を支える財源として運用することとし、使途や充当事業等を明確にしていくことが重要である。

なお、有料化によるごみ減量効果を持続し、高めるために、これと平行してごみ発生抑制策を強化し、プラスチックごみ・生ごみ等の資源化対策を一層推進すべきである。

2. 事業系ごみ処理手数料の見直しについて

事業系ごみの処理手数料の見直しについては、多摩ニュータウン環境組合構成市（多摩市・八王子市・町田市）の処理手数料の改定の動向を見極めつつ、持ち込み手数料統一を考えることが望ましい。あわせて他市からの事業系ごみの混入防止・分別徹底等の対策を強化すべきである。

このために、収集・運搬業者に対して一般廃棄物管理票（マニフェスト伝票）の提出を徹底させ、排出事業者や収集・運搬業者の意識啓発とモラル向上に努める必要がある。

また、ごみ減量、資源化に積極的に取り組む事業者へのインセンティブを設けることや、資源化に係わる許可業者制度等についての見直しや法改正の要望を国等へ働きかけることが必要である。

3. プラスチックごみのリサイクル及び処理方法等について

プラスチックごみは、極力燃やさず・埋め立てずという方針で、さらに分別する方向とし、リサイクル（容器包装リサイクル法対応）へ回すことが望まれる。

なお、プラスチックごみの取り扱いについては、現状では自治体・市民側の負担が大きいので、国・産業界等への協力要請を強化すべきである。

あわせて現在のRDF化についても、今後の容器包装リサイクル法の動向を見極めつつ、コストを勘案しながら、他ルートへの移行の検討を進めていくことが必要である。